

新会長誕生

今年4月、阿品台コミュニティに地安部が新たに設けられ、総務部を事務局に、婦人部を女性部と改名し、新組織体制となり、関口禮伸前副会長が新会長に就任されました。



阿品台コミュニティ
会長 関口 禮伸

新しい地域コミュニティの発展に向けて

平素より住民の皆様方には、町内会・自治会を通し地域コミュニティにご理解を賜り、深く感謝申し上げます。

本年度より、前会長の山本治喜先生の後任として会長を引受ける事に成りその責の重さを深く感じ、身の引き締まる思いであります。

さて、前会長の山本治喜先生は、新興団地として生まれたこの地域をいち早く住民活性化を計るため、町内会連合組織づくりに取り組まれ初代の阿品台連合町内会長として、第一期の阿品台地区の基盤を形成されました。

合わせて昭和58年6月には、これまでの阿品コミュニティ組織から独立し、「阿品台コミュニティをすすめる会」を発足され、初代会長の任に当たられると同時に住民の要求でもあった、J R阿品駅期成同盟の結成責任者として、住民の先頭にたってJ R、行政に掛け合い新設阿品駅が誘致された事は、皆様方も知るところであります。いわば、苦難な阿品台地区の初期・中期の街づくり推進に議員生活を兼ねながら、実践されて来られたその功績は、永遠に阿品台の歴史に残るでしょう。あらためて、今日までの道筋を立て頂いた前会長に、

民を代表して感謝を申し上げたいと思います。

さて、私事ですが、浅学無知な若輩者であります。これからの後期・阿品台地区街づくりの為、お役に立てる組織の場づくりを、進めて行きたいと考えております。合わせて、これからの地域コミュニティのあり方の初心を申し上げ住民の皆様方のご理解とご協力、そしてご鞭撻を折にお願いしたいと思います。

今後の地域コミュニティのあり方

1. 互いに相手を尊重し共同・共生の基盤を大切した地域づくり
2. 自らの意思で人が人を支え合える街づくり
3. 過去の行事実績に囚われず、時代に即した企画立案を推進
4. 次世代へバトンタッチ出来る人材の確保
5. 町内会組織を有効に生かした諸活動の実施

これらの基盤となるのは、地域住民の多くの方が加入している町内会・自治会の存在なしには進めて行くことが出来ません。阿品台コミュニティは地域から出された諸問題を足場に、これからも「安心で安全な明るい住み良い街づくり」を共通のスローガンとして先頭に立って取り組んで行く所存です。

各地域の町内会長さんを初め、コミュニティ部会員の皆様方の旧に倍しますご協力を、折にお願いし新任のご挨拶とさせていただきます。

阿品台コミュニティの誕生秘話

名誉会長 山本 治喜

現在の阿品台コミュニティが、今日に至る迄には紆余曲折がありました。

私達が新しい住み家を求めて広島県開発の廿日市ニュータウンに転居して参りましたのは、昭和54年頃からでしょうか。2丁目、1丁目、そして3丁目と続いて北区更には山の手、4丁目、5丁目。その間に県営住宅、県警住宅、北一、と目まぐるしい建設、売出しが行われ、今の皆さんのニュータウンへととなって参りました。

始めの頃は今の3丁目のアジナモールの駐車場になっている場所で住宅地の説明や販売契約が行われていました。故人になれましたが1丁目の丸西さんが事務所に勤務しておられ大変お世話になりました。県営住宅のように出来上がった建物に一斉に入居するのと違い夫々が設計建築していくわけですから、一挙に建築され入居するわけではありませんが、段々と家が建ち、入居があり賑やかになって参りました。

お互いに知らない間に住んでみて隣が解る。これがニュータウンかと感じました。お隣さんはどんな人でしょう、難しい方でなければ良いがと考えたのは新しい住宅に住むその頃の気持でしょうか。さて、家が出来、住む人が増えてくる。後から来た方が挨拶に見える。三々五々と住民が増えてくると「サー隣組は、町内会はどうなってるか？如何したら良いかのう！」 お隣さんと挨拶を交わしながら話し合いをするようになりました。

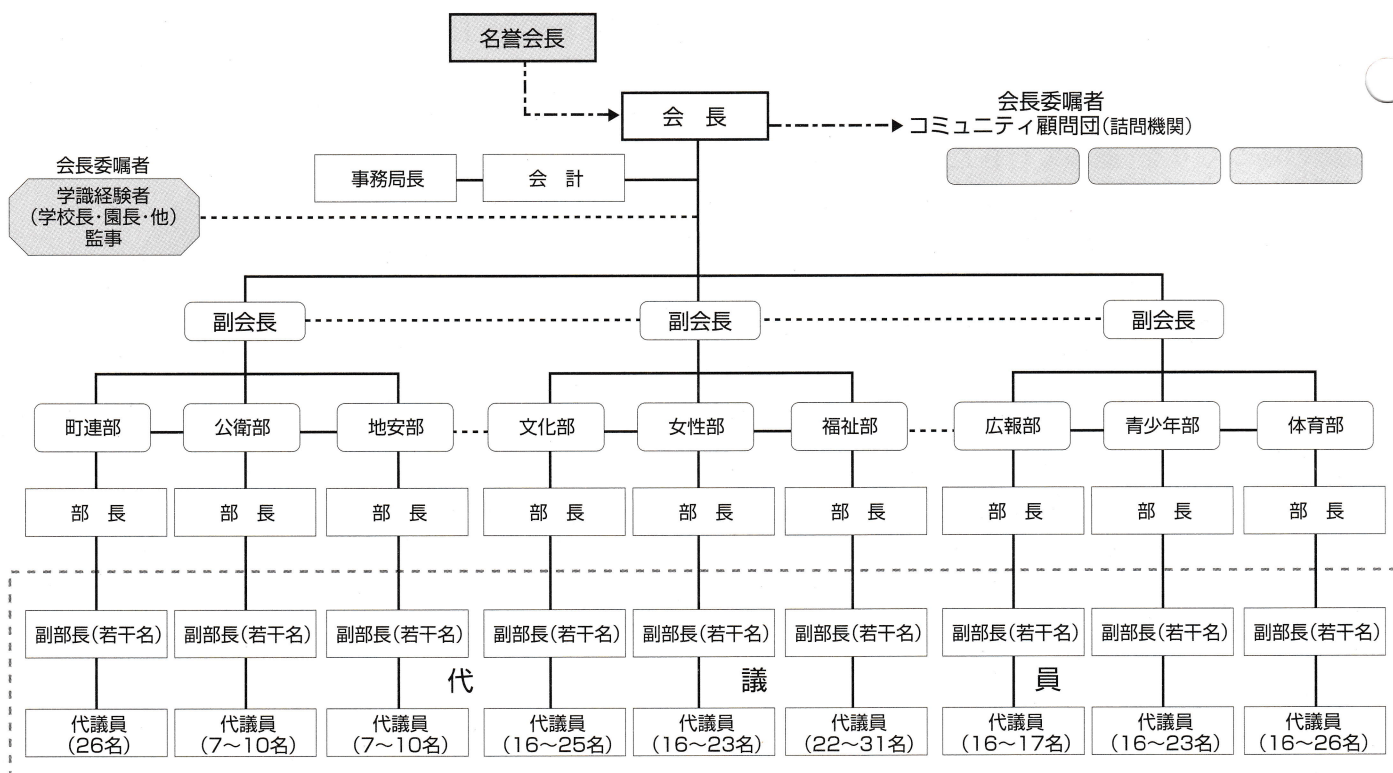
ここは1丁目、ここからは2丁目、次は3丁目、地域がハッキリしていましたが、多分町内ごとに会を作れば良からうと感じていました。早かったのは県営第一町内会です。早速に設立を決めて役場に届けました。2丁目、1丁目、3丁目と町内会が発足したのではと思います。

生みの苦勞を知ってから阿品、阿品台が地御前の町内連合会の範囲に含まれている事が解りました。地御前が広島県のコミュニティ推進協議会の指定地区であった為、「新しい町についてもコミュニティの精神に触れてもらい一緒にやろう」と地御前コミュニティから上がり総会に呼ばれる事になりました。昭和55年の春でした。何も知らないのに出席しました。その年は地御前コミュニティの中に入れば良いという事でしたが、翌年には阿品の方と相談して「一緒に独立してコミュニティを立上げたい」と分離独立を諒解されるようお願いしました。それならば前向きの考えだからと諒解され阿品と阿品台で一緒にコミュニティを組みました。

一年やってみました。阿品と阿品台とは、やはり分離独立してやろうとなり、昭和58年に私たちのコミュニティが生まれたのです。

昔を偲び、なつかしくもあり厳しい道をよくも歩いたものだと皆様に感謝しながら、阿品台コミュニティの更なる発展、皆様の御多幸を祈りつつ思い出を書きました。

阿品台コミュニティ 新組織表



第32回阿品台納涼盆踊り大会

8月13日(土) 阿品台東小学校グラウンド



阿品台敬老会

9月19日(月) 日本赤十字広島看護大学



阿品台地域安全協議会が全国表彰されました!

阿品台地域安全協議会が、9月30日(金)明治記念館で行われた(財)全国防犯協会連合会と警察庁主催の平成23年全国地域安全運動中央大会において、「功労ボランティア団体表彰」を受賞されました。全国で30団体が表彰されましたが、阿品台地域安全協議会(以下、地安協)は、「平成11年結成以来、交番との情報交換による夜間パトロール、青色防犯パトロール車によるパトロール、ほぼ毎日の児童見守り活動、夏休み・冬休みにおける少年補導を兼ねた夜間パトロール、駅駐輪場における防犯診断等幅広い活発な活動をし、地域住民からも高い評価を得ている」との経緯と内容により広島県の代表として表彰されました。

会長の竹元忠国さんは、次のようなコメントを寄せてくださいました。

地安協は、平成11年4月に発足し、年々盛況しております。構成員は、阿品台に位置する日本赤十字広島看護大学、県立廿日市西高等学校、阿品台中学校、阿品台東小学校、阿品台西小学校及び各町内会の防犯犯担当者、青色防犯パトロール隊員(16名)で、計約40名です。

主たる活動は構成員全員が隔月安全会議を開催し、交番にも出席いただき、犯罪情報等を交換しています。日常は、週に数回青色防犯パトロール車で地域を巡回、また児童の通学の安全を見守っています。

年間事業は、毎年11月の廿日市市消防署西分署指導による「防犯訓練」を町連部に協力していただき開催しています。また毎年2月の「学童による通学路清掃活動」は年々盛況で、今年は、大学生・高校生・小中学生及び地域住民から幼児まで参加をいただき約300名もの動員活動となりました。

今後は、この受賞を機に青色防犯パトロール隊員の若干を増強し、弱者保安(子ども・高齢者・障がい者等)に支援ができたらずと隊員一同考えているところです。



琴の演奏による スプリングコンサート

日時 5月14日(土)
阿品台市民センター 50名参加
出演 ゆかいな琴の仲間たち



サマーコンサート

～ベンチャーズサウンド～

日時 8月28日(日) 阿品台市民センター 80名参加
出演 廿日市ベンチャーズ

あのベンチャーズサウンドに会場いっぱいの
皆さんも懐かしさに浸るコンサートでした。



女 性 部

かんたん!! おやつ作り

日時 7月1日(金) 阿品台市民センター 20名参加

家庭でできる洋風料理

日時 10月4日(火) 阿品台市民センター 23名参加
講師 関口 慶三さん(ビストロ パグ シェフ)

国際理解講座

バングラデシュ料理

日時 7月19日(火) 阿品台市民センター 25名参加
講師 谷本 美弥子さん(料理研究家)

福祉部

春季グラウンドゴルフ大会

5月21日(土) 阿品台東小学校グラウンド
16チームの総勢77名がA、B2つのコースに挑戦、
日頃鍛えた腕を競いました。
優勝者 得能陽治さん(阿品台北) スコアー56



無料法律相談

8月27日(土) 阿品台市民センター
9月17日(土) 同上
10月15日(土) 同上

体育部 青少年部

ウォーキング&宝探し

9月4日(日) 39名参加
台風一過したもののやや蒸し暑い日、阿品台東小学校の体育館に集合。参加者の体調チェック、ストレッチ体操をした後、2kmと4.5kmの二つのコースに分かれて阿品台公園を目指しました。

